

2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社
 コード番号 4634 URL <https://schd.toyoinkgroup.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 悟

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役財務担当 (氏名) 青山 裕也

TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	210,965	12.6	9,746	15.5	11,159	49.5	6,985	65.7
2020年12月期第3四半期	187,418	10.5	8,435	11.2	7,466	22.3	4,215	22.1

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 14,790百万円 (%) 2020年12月期第3四半期 8,819百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	124.47	124.26
2020年12月期第3四半期	72.18	72.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	390,296	221,847	54.8
2020年12月期	380,227	217,325	55.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 213,708百万円 2020年12月期 209,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		45.00		45.00	90.00
2021年12月期		45.00			
2021年12月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	8.7	14,500	12.3	15,000	19.6	8,500	41.2	151.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	60,621,744 株	2020年12月期	60,621,744 株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	4,779,574 株	2020年12月期	2,195,524 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	56,116,835 株	2020年12月期3Q	58,410,196 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は2021年11月12日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますものの、ワクチン接種の進展や大規模な政策効果により持ち直しの動きもみられます。しかしながら、当企業グループの事業環境におきましては、複数の原材料メーカーでのプラント被災や物流の停滞により、世界的に原材料の供給不足や価格高騰が継続しているうえ、足元でも原油価格がさらに上昇するなど、厳しい状況が続くことが見込まれます。

このような状況のなかで当企業グループは、これらに対応するとともに、年度方針である「事業の収益力強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,109億65百万円（前年同期比12.6%増）と、前年同期と比べ増収になりました。また、営業利益は97億46百万円（前年同期比15.5%増）、経常利益は111億59百万円（前年同期比49.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69億85百万円（前年同期比65.7%増）と、それぞれ増益になりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、一部事業について、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 色材・機能材関連事業

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、外出自粛に伴いテレビやタブレット、パソコン用のディスプレイ向けに需要が好調でした。また、台湾や中国での拡販も進みました。

汎用顔料は、リキッドインキ用は堅調に推移しましたが、情報系印刷インキ用は低調が続いたことに加え、原材料価格高騰の影響も受けました。インクジェットインキは、中国や欧米など海外を中心にデジタル印刷需要が堅調に推移しました。

プラスチック用着色剤は、日用品や容器向けが好調でした。また、欧州や東南アジアの不採算拠点からの撤退により採算改善が進みました。また、原材料価格の上昇を受けて販売価格の改定も進めさせていただいております。

車載用リチウムイオン電池材料は、米国の拠点を立ち上げ、現地生産を開始しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は555億8百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益は40億36百万円（前年同期比204.5%増）と、増収増益になりました。

② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料は、スマートフォン向けに導電性接着シートや電磁波シールドフィルムが好調でした。また、液晶パネルや自動車向けの耐熱微粘着フィルムも好調に推移しました。

接着剤は、国内ではスナックやペットフード向けなど包装用が、また海外でも食品包装用が堅調で、粘着剤も、国内のラベル用の需要が堅調でした。また、国内外で偏光板用なども好調でした。一方で、世界的な原材料の調達難や急激な価格高騰を受け、コスト削減や販売価格の改定を進めさせていただいておりますが、利益は大きく圧迫されました。

缶用塗料は、国内では単ごもり需要の取り込みや新製品の拡大で飲料缶用が堅調に推移し、海外でも中国やタイで需要が回復したものの、原材料価格高騰の影響を受けました。

これらの結果、当事業全体の売上高は516億76百万円（前年同期比13.3%増）と増収になりましたが、営業利益は26億87百万円（前年同期比34.5%減）と、減益になりました。

③ パッケージ関連事業

リキッドインキは、国内では、外出自粛に伴いお土産や衣料品の紙袋向けが低調でしたが、冷食や麺類等の家庭用食品向けが堅調に推移しました。海外では、東南アジアで経済活動の制限により一部で需要が減少しましたが、中国やインド、中東では好調に推移しました。一方、世界的な原材料の調達難や価格高騰が継続しており、販売価格の改定を進めさせていただいておりますが、利益面で大きく影響を受けました。

グラビアのシリンダー製版事業は、エレクトロニクス関連の精密製版が堅調で、軟包装や紙器関連の包装用も回復しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は535億58百万円（前年同期比8.9%増）と増収になりましたが、営業利益は14億76百万円（前年同期比45.8%減）と減益になりました。

④ 印刷・情報関連事業

情報系印刷市場の構造的な縮小が、新型コロナウイルスの感染拡大と長期化、経済活動の制限でさらに進み、国内ではチラシや広告、出版向けが低調でしたが、同業他社との協業やコストダウン、原材料価格上昇に対する販売価格への一部転嫁など、事業体質の改善を進めました。

海外では、中国やインドで需要が回復しましたほか、食品や医療品などの紙器向けが堅調に推移しました。また需要に合わせて、グローバルでの供給体制最適化や、各拠点の事業体制再構築にも取り組みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は488億47百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は9億96百万円（前年同期比19.7倍）と増収増益になりました。

⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、東洋インキSCホールディングスなどによる役務提供などを対象としています。売上高は44億71百万円（前年同期比3.9%減）と減収になりましたが、営業利益は5億69百万円（前年同期比158.3%増）と増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産の当第3四半期連結会計期間末残高は3,902億96百万円で、前連結会計年度末残高より100億68百万円増加しました。負債は1,684億48百万円で、前連結会計年度末残高より55億46百万円増加しました。純資産は2,218億47百万円で、前連結会計年度末残高より45億22百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日の為替レートに比べ、円安外貨高に振れたため、海外子会社で保有する資産、負債及び為替換算調整勘定が増加しました。また、原材料価格の上昇に伴い、たな卸資産が増加しました。さらには、日本国内の株価上昇を反映し、投資有価証券、繰延税金負債、その他有価証券評価差額金がそれぞれ増加しました。一方、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であった影響や、自己株式の取得による支出及び配当金の支払いに伴い、現金及び預金は減少しました。なお、返済期限の1年以内到来に伴い、短期借入金が増加し、長期借入金が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、2021年8月6日に発表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,469	61,791
受取手形及び売掛金	87,126	89,184
有価証券	57	42
商品及び製品	28,328	31,207
仕掛品	1,070	1,284
原材料及び貯蔵品	16,790	23,093
その他	5,178	5,081
貸倒引当金	△924	△1,090
流動資産合計	214,097	210,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,156	102,660
減価償却累計額	△65,629	△67,225
建物及び構築物(純額)	34,526	35,434
機械装置及び運搬具	152,140	154,518
減価償却累計額	△131,816	△133,428
機械装置及び運搬具(純額)	20,324	21,089
工具、器具及び備品	25,303	26,024
減価償却累計額	△22,067	△22,476
工具、器具及び備品(純額)	3,236	3,548
土地	30,529	30,423
リース資産	4,996	5,301
減価償却累計額	△1,269	△1,486
リース資産(純額)	3,726	3,815
建設仮勘定	10,273	16,831
有形固定資産合計	102,616	111,142
無形固定資産	3,113	2,460
投資その他の資産		
投資有価証券	48,440	53,800
退職給付に係る資産	8,608	8,747
繰延税金資産	2,398	2,601
その他	1,143	1,144
貸倒引当金	△191	△194
投資その他の資産合計	60,399	66,098
固定資産合計	166,130	179,702
資産合計	380,227	390,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,608	57,468
短期借入金	19,379	24,244
未払法人税等	1,082	1,169
その他	16,340	17,862
流動負債合計	91,411	100,746
固定負債		
長期借入金	60,492	55,320
繰延税金負債	6,561	7,733
環境対策引当金	1,485	1,450
退職給付に係る負債	1,914	2,042
資産除去債務	31	32
その他	1,005	1,123
固定負債合計	71,491	67,701
負債合計	162,902	168,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,499	32,544
利益剰余金	147,390	149,233
自己株式	△4,916	△9,793
株主資本合計	206,706	203,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,699	9,611
為替換算調整勘定	△5,284	△2,099
退職給付に係る調整累計額	2,583	2,478
その他の包括利益累計額合計	2,998	9,990
新株予約権	249	174
非支配株主持分	7,370	7,964
純資産合計	217,325	221,847
負債純資産合計	380,227	390,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	187,418	210,965
売上原価	146,242	167,206
売上総利益	41,176	43,759
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,880	5,527
給料及び手当	8,465	8,791
賞与	1,936	1,933
福利厚生費	2,151	2,269
減価償却費	1,459	1,517
研究開発費	2,222	2,487
その他	11,624	11,484
販売費及び一般管理費合計	32,740	34,012
営業利益	8,435	9,746
営業外収益		
受取利息	171	126
受取配当金	917	799
為替差益	-	730
その他	301	600
営業外収益合計	1,390	2,256
営業外費用		
支払利息	397	399
為替差損	1,265	-
持分法による投資損失	176	143
その他	520	301
営業外費用合計	2,360	844
経常利益	7,466	11,159
特別利益		
固定資産売却益	19	311
投資有価証券売却益	-	227
その他	0	14
特別利益合計	20	553
特別損失		
固定資産除売却損	200	175
減損損失	-	603
事業構造改善費用	-	1,208
事業整理損	-	247
操業停止費用	363	-
その他	29	33
特別損失合計	592	2,268
税金等調整前四半期純利益	6,893	9,443
法人税、住民税及び事業税	2,528	2,900
法人税等調整額	△179	△611
法人税等合計	2,349	2,288
四半期純利益	4,544	7,154
非支配株主に帰属する四半期純利益	328	169
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,215	6,985

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	4,544	7,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,784	3,915
為替換算調整勘定	△3,485	3,707
退職給付に係る調整額	70	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	△164	118
その他の包括利益合計	△13,363	7,635
四半期包括利益	△8,819	14,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,074	13,976
非支配株主に係る四半期包括利益	255	813

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルスの感染拡大による影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	44,968	45,409	48,725	44,791	183,894	3,524	187,418	—	187,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,727	189	452	16	2,386	1,130	3,516	△3,516	—
計	46,695	45,598	49,177	44,808	186,280	4,654	190,934	△3,516	187,418
セグメント利益	1,325	4,106	2,723	50	8,205	220	8,425	9	8,435

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,038	51,471	52,979	48,843	207,332	3,633	210,965	—	210,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,470	204	579	4	2,258	838	3,097	△3,097	—
計	55,508	51,676	53,558	48,847	209,590	4,471	214,062	△3,097	210,965
セグメント利益	4,036	2,687	1,476	996	9,196	569	9,765	△19	9,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、開発を更に加速すべく事業管理区分の見直しを行い、従来「印刷・情報関連事業」に含めていた一部事業について、報告セグメントの区分を「色材・機能材関連事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計			
減損損失	1,008	65	399	137	1,611	—	—	1,611

(注) 「色材・機能材関連事業」に係る減損損失1,008百万円は四半期連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。